

授業改善等に関する報告書（2023 年前期）短期大学部

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2023 (前期) 英語コミュニケーション学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
EffectiveA	エドワーズ, マイケル・アンソニー	With a small class, I was pleased that students gave a more than satisfactory effort in giving presentations and listening activities, and discussions. I will continue with the same format in upcoming lessons for this course.
ListeningA (E①)	萩野 敏	クラス指定の少人数必修授業で、回答者が1名のみと極端に少なく残念でしたが、この学生からはどの項目も非常に高い評価を受けました。CALL教室を使った授業ですが、教員側の機器操作の点を含め、毎回の授業を順調に進めることができましたと思います。後期のListeningBにおいても、学生の期待に応えていきたいと思います。
ListeningA (E②)	萩野 敏	クラス指定の必修授業で、多くの項目で平均的な評価となりました。CALL教室を使った授業ですが、教員側の機器操作の点を含め、毎回の授業は順調に進めることができましたと思います。一方で、内容理解度の値が77.7と、これまでではないほど低く、難易度が高すぎると感じた学生が一定程度いたようです。後期のListeningBにおいては、多様な学生の期待にさらに応えていきたいと思います。
ReadingA (E④)	大島 幸治	この授業においてはテキスト英文の訳例プリントをmanabaに提示し、自宅での復習の便宜を図った。加えて、教室内では学生との対話を重視し、個別の質疑に回答し、解説を加える「寺子屋」方式の指導をなるべく多く加えることで、双方向性の授業を行うよう意図した。これらにより学習内容について十分な確認と知識の定着が図れたものとする。授業中にわからないところは自由に質問するように言っているので、学生の授業中での質問や発言のやりとりがかなりあった授業だと思われる。
ReadingC	エドワーズ, マイケル・アンソニー	With only 3 participating students, readings and quizzes were tailored specifically for them.
Workshop B	三田 薫	皆さんがとても熱心にこの授業に参加していることがアンケートから分かりました。今年度は特に「自分の意見を英語で伝える力が身についた。」「授業前に短い動画を投稿する課題も自ら英文を考えて話したので、コミュニケーション力が向上した。」「英語でコミュニケーションすることの大切さや自分の意見が英語で伝えられる楽しさを学ぶことができました。」「など、発信力やコミュニケーション力を大いに高めた様子が伝わりました。今後も自己学習を続けて楽しく英語力を高めてください。
Workshop C	三田 薫	皆さんがとても熱心にこの授業に参加していることがアンケートから分かりました。今年度は特に「オンラインの英会話や授業内の英会話を通して話す力がついた。」「オンライン英会話をしたり、先生の前で英文を読んだりすることで、単語も新たに多く学び、会話で使うことを努力した。」「英語の語学力や英語を話す楽しさを知ることができた。」「など、発信力や英語力向上に大いに努めた様子が伝わりました。今後も自己学習を続けて楽しく英語力を高めてください。
WritingA (E①)	大島 幸治	この授業においてはmanaba上にTOEIC単語を掲載し、指定の範囲について毎回小テストを実施するというものを行った。これは学生の学習と資格取得へのモチベーションを高めるという意図であったが、与えられた課題について、学生は概ね積極的に取り組んだと思う加えて、教室内では学生との対話を重視し、英作文の作業に取り組む学生に個別の質疑や解説を加える「寺子屋」方式の指導をなるべく多く加えることで、双方向性の授業を行うよう意図した。前期に引き続き内容のレベルについて、難しいと受け止めるむきが一歩にあるが、復習する際に困らないためのサービスを提供していることにより理解を深める効果をあげているものと思われる。これにより学習内容について、十分な確認と知識の定着が図れたものとする。授業中にわからないところは自由に質問するように言っているので、学生の授業中での質問や発言のやりとりがかなりあった授業だと思われる。
WritingA (E②)	大島 幸治	この授業においては課題英作文の複数の解答例とその分析をmanabaに提示した。授業では、どのような視点で英作文するかに加え、関連する文法知識について黒板に詳細に書いて説明する形式を今年度も採用した。その上で、板書する内容をカバーした解答・解説プリントをmanaba上に提示し、自宅での復習の便宜を図った。このようなローテーションで授業を進め、自学自習を促した。これは学生の学習と資格取得へのモチベーションを高めるという意図であったが、与えられた課題について、学生は概ね積極的に取り組んだと思う。加えて、教室内では学生との対話を重視し、英作文の作業に取り組む学生に個別の質疑や解説を加える「寺子屋」方式の指導をなるべく多く加えることで、双方向性の授業を行うよう意図した。学生からの質問や追加で補足してほしいとあがってきた情報について、プリントをさらに追加・配布するなどの対応を行っている。前期に引き続き内容のレベルについて、難しいと受け止めるむきが一歩にあるが、復習する際に困らないためのサービスを提供していることにより理解を深める効果をあげているものと思われる。これにより学習内容について、十分な確認と知識の定着が図れたものとする。授業中にわからないところは自由に質問するように言っているので、学生の授業中での質問や発言のやりとりがかなりあった授業だと思われる。

[2023 (前期) 英語コミュニケーション学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
WritingA (E⑤)	藤原 正道	基礎から身についたでしょうか？ 次のステージにステップアップすると良いと思います。
ことばの科学	三田 薫	皆さんがとても意欲的にこの授業に参加していることがアンケートから分かりました。「言語について多方面で学ぶことができたし、ためになる知識などを知ることができた。」「レポートの書き方が良く身についたと感じます。論理的に考える力も身についたと思います。」など、授業内容を深く理解し、またそれを毎回期日に間に合うようレポートにまとめて提出することで、言語の深い知識と行動力を同時に高めている様子が伝わってきました。
コンシェルジュ論	池田 里香子	アクティブラーニングを多く取り入れ授業を双方向で行うことを目標にしていた。それが充分今年度は実施でき又成果もあげることができた。又初めてオンデマンド授業も実施した。外部講師を招いての授業を次回は是非実現し、より学生の皆さんの学びの幅を拡げていきたい。
ステップアップ英語	エドワーズ, マイケル・アンソニー	I'd like to thank all students in this class for putting forth effort in their presentations. I was happy to see all improved.
英語音声学 A	萩野 敏	履修者数が100名を超えることも多い授業ですが、今年度は65という履修者数でした。「授業内容に興味があったから」という理由で履修した学生が57%ほどと、78%ほどだった昨年をかなり下回りましたが、オンデマンド授業の講義内容を理解しようと真面目に取り組んでいた履修者がとても多かったと感じています。総合満足度の平均は4.71と、これまで同様にとっても高い値でした。高評価を得た部分についても、次年度以降もさらに工夫して取り組んでいければと思います。
英語学 A	藤原 正道	オンデマンド授業でありがちな、内容をよく聞いていないことによる不適当な課題内容が少なからずありました。 毎回の課題を最後まで頑張った学生も多くいました。頑張りましたね！
英米言語文化論 A	萩野 敏	履修者数が100名を超えることも多い授業ですが、今年度は66という履修者数でした。昨年同様に、「授業内容に興味があったから」という理由で履修した学生が6割程度いました。オンデマンド授業の講義内容を理解しようと真面目に取り組んでいた履修者が少なくなかったと感じています。総合満足度の平均は4.64と、高めの値でした。高評価を得た部分についても、次年度以降もさらに工夫して取り組んでいければと思います。
観光英語	武内 一良	この科目はもともと英語のできない学生に寄り添うものとしているが、オンデマンドであるため自己管理ができず学習を継続できない傾向が存在する。英語に苦手意識を持つようになってしまった学生に対して、オンデマンドによる授業は難しく対面での授業対応が望まれる。
観光概論	武内 一良	観光概論に関しては、教える項目の数を減らし、期末試験においても最小限の内容に絞り込み難易度を下げたが、それでもついてこれない学生が多かった。授業自体は分かりやすさに重点を置き、楽しく理解できるように工夫したが、それでも学生から見て楽しい科目という評価にはならなかった。
卒業演習 A	三田 薫	皆さんがとても意欲的にこの授業に参加していることがアンケートから分かりました。今年度は特に「生成AIの扱い方をマスターできたと思います。使ったことのないもので作品作りをすることで考える力がつきました。」「canvaでデザインを考えるのがすごく楽しかったのと、異世代の方と交流する機会があまりないので良い経験になったと思います。」など、新しい課題に果敢に挑戦して楽しんでいることが分かりました。後期も一緒に頑張らしましょう。
卒業演習 A	エドワーズ, マイケル・アンソニー	The handouts and videos watched in and out of class seemed to have an impact on the students. The guest speaker brought in towards the end of the semester also affected the students' perspective on Japanese American history in a positive way.
卒業演習 A	武内 一良	回答者数が1名であるためアンケート結果に意味を見出すことは難しい。この1名の反応がクラス全体の平均に近いのであるならば、いい結果が得られたと言えよう。
卒業演習 A	大倉 恭輔	自発的に地道に作業をしましょう。 後期、頑張ってください。

[2023 (前期) 英語コミュニケーション学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
卒業演習 A	藤原 正道	毎回発表しなければなりませんでしたが、内容を理解し、さらに深く調査する態度の基礎は身についたように感じます。 皆さん、よく頑張りました！
卒業演習 A	萩野 敏	昨年度に続き、今年度も全面的に通常の対面形式で行うことが出来ました。学生も演習らしさを十分に体験できたと思います。総合評価の4.77をはじめ、全体的にとても高い評価を得ることができました。毎年のことですが、学生の発表が中心となる演習なので、この形式の授業評価にはやや戸惑いがあるように見受けられました。
都市文化研究	大倉 恭輔	授業内で述べたとおり、「都市文化学」という学問はありません。必然的に、さまざまな学問領域からの話が繰り出されて、戸惑った部分も多いと思います。 半期では理解できなくとも、これからの暮らしの中で「あ、これはあの話だな」と思い出してもらえれば十分です。
発音演習 A	藤原 正道	正確な発音と実際の発音が身についたはずですが、劣化しないよう毎日1曲英語で歌を歌うと良いでしょう。